

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第4回 上溝地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 上溝まちづくりセンター 電話042-762-5626 (直通)		
開催日時	令和8年3月18日(水) 19時00分~20時40分		
開催場所	上溝公民館 大会議室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)	
	その他	中央土木事務所 1名 神奈川県流域下水道整備事務所 1名 東京電力パワーグリッド株式会社 4名 奥村組 2名	
	事務局	2人(上溝まちづくりセンター地域政策担当 他1名)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 上溝 2560 番地付近の下水管損傷について (2) 地域活性化事業交付金について(報告) (3) 令和8年度 まちづくりを考える懇談会について 4 その他 (1) ダイエー上溝店閉店に伴う市長のイオン本社訪問について(報告) (2) 令和8年度上溝地区まちづくり会議について 5 閉 会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 会長あいさつ（小林会長）

3 議題

（1）上溝 2560 番地付近の下水管損傷について

○東京電力パワーグリッド株式会社と奥村組の担当者より資料に基づき説明があった。

<主な意見・質疑>

・路面の沈下や流域下水道管の変動は確認されていない、また、路面下の空洞化も認められていないということであるが、近隣住民への生活の影響は今は出ていないということではよいか。

→交通渋滞に関してはご迷惑をおかけしている状況であるが、下水管については、堆積物が撤去できた関係で所定の流量が確保され、安心できる状態になったと考える。

・4か月間地下水が下水管に流出したことで地下水位が減ったと思うが、井戸のことなど、今後水位が戻るまでにどれくらいの時間がかかるのか。

→モニタリングにおいて、近くの場に井戸を設けて地下水位を観測している。12月に下水管への地下水の流入が止まった時点で地下水位がほぼほぼ復旧している。

・交通渋滞が多くて困っている。工事は夜間でやるのか。

→作業音が出ることで騒音につながってしまうため、夜間工事は難しい面はある。交通渋滞は朝と夕方に多いので、工事時間帯をずらしながら対応させていただいている。音が小さく済む作業であれば夜間工事も含めて対応し、交通渋滞の緩和に努めたい。

・交通渋滞の影響により、上溝を避けて通らないようにしているという声をよく耳にする。商店街にも人が減っていると肌で感じているし、コインパーキングの利用率も減っている。そういった影響も出ているため、1日でも早く工事を終わらせていただきたい。

・下水管の復旧方法は前例があり、確立された工法なのか。また、こういった説明をしに来た時には、うまくいった場合の説明のみがなされていると思うが、失敗した場合のことなども地域住民としては知っておきたい。

→SPR工法は下水管の老朽化や損傷がひどい箇所の補修方法として一般的に使われており、今回そういった実績も含めて採用させていただいた。ただ、ご心配される気持ちもわかるため、SPR工法の失敗例なども十分に情報収集しながら慎重に施工を進めていきたい。

・資料がわかりづらい。いつも同じような質問や説明の繰り返しになってしまっている。部分的な図だけでなく、もっと全体像を立体的に示さないといけない。
→我々も説明する内容をご理解いただくことが重要だと考えているので、貴重なご意見として受け止めたい。

(2) 地域活性化事業交付金について（報告）

○上溝地区自治会連合会・松永副会長より次のとおり報告があった。

・地域活性化事業交付金を活用し、今年度が3回目の開催となった。

・イルミネーションの点灯期間は、令和7年12月13日（土）から令和8年1月10日（土）までの約1か月間で、令和7年12月13日（土）に行った点灯式では、上溝南高等学校吹奏楽部の演奏や、上溝高等学校ダンス部によるパフォーマンス、光明学園相模原高等学校和太鼓部の演奏などがあり、盛大に開催できたと感じている。

・上溝高等学校、上溝南高等学校からは、模擬店のボランティアとしても約20名が参加していただき、イルミネーション事業と一緒に盛り上げてくれた。

・前回のまちづくり会議で事務局から報告があったが、令和8年度からの活性化事業交付金の見直しで交付回数が3年（3回）から最大5年（5回）、までに延長されたため、是非、来年度も開催したいと考えている。

<主な意見・質疑>

・上溝高校ダンス部がパフォーマンスを披露するにあたり、下が砂の地面だと踊りづらそうに見えた。台などを置けないか。

→地面が平らではないため、台を置いても不安定で危険になる。体操マットのようなものもパフォーマンスを披露する一面に敷くとなると費用面で難しいし、土足ではすぐに破れてしまったりするため難しい。

(3) 令和8年度 地区まちづくりを考える懇談会について

○市民協働推進課から令和8年度の地区まちづくりを考える懇談会の実施希望の照会がまちづくり会議宛に届いている旨の説明が小林会長からあり、上溝地区においては、上溝まちづくりビジョンに基づく事業の推進など、身近な取組みに力を注ぐことを優先することとし、令和8年度の地区まちづくりを考える懇談会については、現時点では実施を見送ることとしてはどうかとの提案があり、承認された。

4 その他

(1) ダイエー上溝店閉店に伴う市長のイオン本社訪問について（報告）

○上溝商店街振興組合・鈴木理事長より次のとおり報告があった。

・ご存じのとおりダイエー上溝店が先月閉店した。その後の動向について、報告をさせていただく。

・先日、ダイエー上溝店の閉店に伴って、市長がイオン本社を訪問するということが決まり、先だって市長から小林会長や諸団体の長と意見交換をしたいという話があり、今、上溝の人たちからどういった声が上がっているのかという対話の場を設けていただいた。

・それをもって市長がイオン本社に訪問し、上溝の人たちの声を社長に届けていただいたところ、イオンからは、「現在、建替えを含めて検討中」であると前向きな回答をいただいた。

・建替えをするにしても年単位での時間はかかるため、移動式スーパーや、現在のテナントの契約期間が残っている間は、1階にイオン系列の「まいばすけっと」のようなお店を出店していただくなど、つなぎの策を講じていただけないかという話も伝えていただいた。

・イオンからは、地域から要望をどんどん出していただければ、交渉を進めていく上での大きな手助けになると言っていたようなので、上溝地区として、要望を出していけたらよいと考える。

<小林会長より>

・まちづくり会議としても要望書を出したいと考えているので、委員の皆さんにも協力いただきたい。

(2) 令和8年度上溝地区まちづくり会議委員について

○事務局より次のとおり説明があった。

・令和7年度のまちづくり会議は今回が最終回となる。次年度の開催については改めて通知を送付させていただくが、次年度の委員に変更がある場合には、「上溝地区まちづくり会議 委員退任届兼推薦書」を期限までに事務局へ提出いただきたい。

・役員会の中で、次年度のまちづくり会議の構成団体について、一部見直しを検討してはどうかという意見が出ている。今年度出席がほとんどできていない団体の委員については、今後の参加意向や事情等の聴き取りを行う。また、新たな構成団体等については、これまでのまちづくり会議で議論してきた課題の解決に向けた知見のある団体などに打診を行いたいと思うがいかが

→一同、事務局一任で承認。

5 閉会（小林会長）

以 上

令和7年度 第4回上溝地区まちづくり会議 委員名簿

団 体 等 名 称	役 職 名	氏 名	出欠席
上溝地区自治会連合会	会長	小林 充明	出席
	副会長	倉橋 強治	出席
	副会長	松永 茂樹	出席
上溝地区社会福祉協議会	会長	永野 堅次	出席
上溝地区民生委員児童委員協議会	会長	桑水流 良光	出席
上溝公民館	館長	吉田 勝文	出席
上溝小学校PTA	副会長	松浦 優紀	欠席
上溝中学校PTA	会長	川道 英弘	出席
上溝南中学校PTA	会長	三留 忠弘	欠席
上溝地区青少年指導委員連絡協議会	青少年指導委員	吉田 知美	欠席
上溝地区スポーツ推進委員		安藤 政彦	出席
上溝地区老人クラブ連合会	会長	新田 恭一郎	出席
上溝地区ボランティアグループ	代表	零 幸一	出席
相模原市消防団中央方面隊第一分団	分団長	三宅 崇之	欠席
交通安全協会上溝支部	副支部長	中野 正	出席
防災専門員		中村 秀夫	出席
上溝商店街振興組合	理事長	鈴木 崇之	出席
	副理事長	小松 靖和	出席
上溝地域包括支援センター	センター長	佐藤 浩史	出席
上溝みらい創生委員会		加藤 祐次	出席
上溝南高等学校	校長	河合 豊	出席
上溝高等学校	校長	林田 裕之	出席
社会福祉法人 清水地域福祉奉仕会	会長	清水 洋子	出席
相模原市農業協同組合 上溝支店	支店長	石井 勝	欠席